

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・ 気候が良くなることで客の動きが活発になることと、ゴールデンウィーク前後でイベント等を開催するため、来客数の増加が見込める。
		住宅販売会社（従業員）	・ 戸建住宅も、3月以降にアベノミクスの効果が数字に表れてくるとみている。当地域は自動車関連の会社が多く、円安の継続は景気回復に大きく作用するはずである。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・ 陽気も温かくなり観光客も多少は増えてくることと、報道等での盛り上がり期待している。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・ 気候も良くなってきており、エアコンと白物家電を含め、客の購買意欲が少し上向いてきているような気がする。
		百貨店（営業担当）	・ 株価も上昇しており、消費マインドとしては上向くのではないかという期待感がある。実体経済への影響はまだまだと思うが、先の見通しとしては若干上がると思う。
		百貨店（販売促進担当）	・ 報道などにもあるように、賃金の上昇や株高など今後に期待感を持たせる要因が出始めている。また、気温も高めに推移していることから、主力の衣料品が動き始め、他のカテゴリーへの波及効果も期待できる。
		百貨店（店長）	・ アベノミクスに加え気候も良くなり、ムードが上がってきていると感じる。
		百貨店（店長）	・ 2月に比べ、明らかに売上が向上してきている。
		百貨店（店長）	・ 来客数、客単価共に上昇しているほか、飲食需要も増えてきている。
		スーパー（店長）	・ 業績は底を打った感があり、これからは間違いなく上がってくる。競合店では、営業を中止して撤退する企業も出てきている。これからは価格より、価値で売り込める。
		スーパー（総務担当）	・ 大手企業の一時金満額回答が続出した報道や株価上昇など、消費に回るお金が増える期待感がある。
		コンビニ（経営者）	・ 当店の客は、営業の人が大半であり、その客が少しずつ増えてきている。また、カップルや家族で買物に来る客の姿が目立ってきている。レジを打つ時は、カップルでも家族でも1人とカウントするので、実際には店内が以前よりも少しにぎやかになってきている。
		コンビニ（経営者）	・ 以前は来客数が大分落ち込んでいたが、ここ1か月ぐらいの間に昔からの客が戻ってきており、来客数が少しずつ回復してきている。
		コンビニ（店長）	・ 大胆な金融緩和ということで円安と株高が進行しているが、我々の周辺ではまるで無関係である。新たな需要もまるで発生していない。当業界はかなりの過当競争に陥っているため、仕入価格は更に低下している状態である。現在は減少しつつある来客数を少しでも回復していくよう努力している。
		衣料品専門店（統括）	・ 東日本大震災から2年が経ち、少しは良くなるかという期待もあったが、現状ではなかなか景気が上向かず、売上も上がらない。天候が安定しないということもあるが、これから暖かくなり、人が街の中で歩けるようになることを期待している。
		家電量販店（店長）	・ 昨年未からエアコンの動きが良いが、今後、夏に向かっていくにつれて販売量が伸びていくため期待が持てる。
		乗用車販売店（経営者）	・ 円安で輸出業界は良いのだろうが、当業界関連としてはガソリンの価格高騰等で好景気感が感じられない。
		住関連専門店（経営者）	・ 現政府の政治が、徐々に国民の政治への信頼回復や経済回復につながっていくように感じている。安心感による消費の拡大が起こりつつあることを販売の現場から感じられる。
		一般レストラン（経営者）	・ アベノミクス効果による株価上昇の影響なのか、単価を気にせず注文する客が増えている。
		スナック（経営者）	・ 来客数や客単価など全体的に少しずつ良くなってきているため、このまま推移してもらいたい。昨年からイベントなど地域として力を入れていることもあり、その効果が出てきているのではないかと感じる。
		観光型ホテル（営業担当）	・ 繁閑の差が激しい地域であるため、シーズンインとともに来客も増加する。本年は春から初夏にかけて当地域で大きなイベントもあり、期待している。
		旅行代理店（所長）	・ しばらくはこの傾向が続くのではないかと感じる。株価も堅調である。
旅行代理店（営業担当）	・ 新年度が始まり、年間の行事や予算が決定され、見積りの依頼も増えてくる。		
通信会社（経営者）	・ 高齢者の消費拡大やリフォーム補助金活用などにより、多少景気の上向き感が出るのではないかと感じる。		

	通信会社（総務担当）	・株価の上昇が、消費者の心理に影響を与えてくるころだと思ふ。
	遊園地（職員）	・景気回復への期待感が高まっており、2、3か月先の景気はやや良くなる。
	ゴルフ練習場（経営者）	・今までできなかった東日本大震災の復興が、年度替わりから少しずつ始まっており、既存の建物の取り壊し、新築改築など建築や設備業者が忙しい。資材も値上がりしている。
	ゴルフ場（業務担当）	・ここにきて客の動きが良くなってきている。コンペの取り込みも前年を若干上回る形で進んでおり、また、新しい補充募集関係についても動きが出ている。全体的には前年比を幾分上回る状況になると思う。ただし、収益関係は単価が下落しているため、改善されるかどうかやや疑問な部分もある。
	その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・給料を含め様々なものが良くなりつつあることは分かる。しかし、それが当業界にまで届くのが先か、それとも経費の増大が先か、そのあたりが非常に微妙である。景気が良くなるだろうと予測はできるが、それが当業界まで実感できるようになるかがポイントである。
	美容室（経営者）	・これから春先に向かって、おしゃれには出費を惜しまない女性が少しずつ増えてくると思う。
	設計事務所（経営者）	・消費税増税と物価上昇の前に設備投資を考えると多く出てくると思う。
	住宅販売会社（経営者）	・消費税増税前に土地を買う客が増えると思う。
変わらない	商店街（代表者）	・当店はスポーツ店だが、例年9月ごろまではスポーツのシーズンであることと、今年は何となく今の世間の風潮で、これから良くなるのではないかという気がするため、少しは良くなると思っている。
	商店街（代表者）	・期待はまだまだ大きいですが、来客数が増加し、売上につながる事がみえてこない。
	商店街（代表者）	・円安の影響で、値上がり品の消費意欲減退は、一部の大手企業の社員給料の上昇を上まわっているようである。最寄り品を扱う商店は厳しい現状が続いている。
	一般小売店[精肉] (経営者)	・アベノミクスの影響も地方ではまだ浸透していない。輸入品の値上がりで物価が上がってきているため、まだ変わらないだろう。
	一般小売店[家電] (経営者)	・商品の値上がり傾向に消費者は動じず、買い急ぎ、買いための動きもあまりみられないが、客足は安売りの店、量販店へ向いている。専門、一般小売業はますます厳しい状況にある。
	一般小売店[乳業] (経営者)	・まだまだ消費意欲が上がってくる気配がみえない。
	百貨店（販売促進担当）	・年初からの円安、株高が今後も継続するかは疑問である。一般消費者の可処分所得が増えたとしても、今までの慎重な消費行動が継続すると思う。
	スーパー（店長）	・曜日ごとの客数は、数が月間変化がない。
	スーパー（統括）	・円安や株価の上昇が一部の消費を押し上げてはいるものの、ガソリンの値上げや電気料金の値上げ予測などのマイナス要素も強く、全体への波及はまだ先と思われる。
	スーパー（経営企画担当）	・円安、株高で景気の良い話も聞こえてくるが、小麦粉、油といった輸入食品などの値上げが目白押しであるため、消費に悪影響を及ぼすのではないかと。
	スーパー（商品部担当）	・世間では、給料のベースアップなど良い方向に向いている感じはするが、当社や当地域の情勢を見ていると、3か月後に上向きになる感じがしない。
	コンビニ（経営者）	・競合店との競争を勝ち抜いていくには、3か月くらいはかかるのではないかと。
	コンビニ（経営者）	・夏前であるため、特別売れる物がない。
	コンビニ（店長）	・良くなる要素も悪くなる要素も、今のところ特に考えられない。状況としてはあまり変わらないと思うが、当店のこの悪さは依然として続いていくと思う。
	衣料品専門店（店長）	・食品や電気代などの生活必需品の値上げがあり、その影響により消費マインドが低下傾向である。
	乗用車販売店（販売担当）	・変わらないと思う。景気は良かったのだが、徐々に来客数が減っており、売上も徐々に落ちている。この状態がこのまま続くのではないかと。また、客が来てはなかなか決めず、決めたととしても値引きが厳しくてとても大変である。
	乗用車販売店（管理担当）	・円安による為替差益や株価上昇による利益が出ているが、これは大企業や製造業の一部にしか効果がなく、中小零細企業は依然厳しい環境である。また、円安による燃料単価の高騰は消費者の負担を増やしている。
乗用車販売店（統括）	・現在の状況が継続していけば良いという希望である。	

自動車備品販売店（経営者）	・株などは多少良くなったものの、当地域の経済に関しては、円安や株高の恩恵の実感があまりなく、上がっていく材料が見当たらない。しかし、特に悪くなることはないと思う。
住関連専門店（店長）	・客1人当たりの買上点数、客単価共に伸びているが、競合店の影響で景気はあまり変わらない。
住関連専門店（仕入担当）	・生活必需品に関してはまだ様子見の感があり、これまでと大きな変化は見込んでいない。逆に、円安による仕入価格の高騰は動きが顕在化してきており、利益の確保が急務である。危機感は増している状況である。
一般レストラン（経営者）	・物価上昇や株高、円安の影響が、一般消費者に影響が出てくるのは、まだまだ先に思える。大手企業と、そのほかの大部分の企業や国民の間に差がありすぎるのではないかと。
一般レストラン（経営者）	・円安や株価上昇により、一部の企業は良い方向に向いていると思うが、我々、末端の中小企業に関しては、全く良い方向には向いておらず、あまり変わらない。
スナック（経営者）	・変わらないとしたが、今の悪さがそのまま変わらないという希望的観測である。また、今騒いでいるアベノミクスなどは、末端まで届くにはなかなか時間がかかるような気がする。その時はもう遅いような気がするが、良い方法があったら教えてほしい。
観光型旅館（経営者）	・前年と比較すると人の動きは良いが、前年が特に悪かったため何ともいえないところである。周囲の景気はやや良くなってきているようだが、旅館などサービス業は、収入が増えてからの剰余金によって人が動くため、景気回復のタイミングは1年ほど遅れる。そのため2～3か月先はまだ現状維持である。
都市型ホテル（支配人）	・当地域に来るビジネスマンは東日本大震災前の状況に戻ってきたが、観光客、行楽客はまだ2～3割減のまま推移している。福島第一原子力発電所の事故による風評被害がまだしばらく続くと思う。
都市型ホテル（営業担当）	・ここ1、2か月のなかでは、様々な指標も良くなっていることもあり、景気はやや上向いてきているとのことだが、そのまま上昇していくのではなく、この後少し停滞する期間があるのではないかと。ホテルの宿泊の景気としても、現在やや良くなっているのだが、このような状態で2、3か月続くと感じている。
旅行代理店（従業員）	・もう少し時間がかかると思う。
通信会社（局長）	・個人消費の改善が実感できるまでには、まだまだ時間がかかりそうである。
テーマパーク（職員）	・期待値ではやや良くなると思っているが、現実的には好転する材料が乏しい現状があり、良くなると思えない。
ゴルフ場（支配人）	・近隣に経営者が変わるゴルフ場が数多くあり、一連の客単価が下がってきている。集客における努力のため、客単価の減少もみられる。
競輪場（職員）	・日本で一番大きいレースが開催されたが、その売上が思ったほど伸びていない。
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・ホテルの宿泊の予約状況については、かなり上向きになってきている。しかし、他の施設やテナント等については、横ばいもしくは下がっているため、全体的にみると変わらない。
設計事務所（所長）	・一向に進展がなく、建設投資が可能な状況になるには、まだ時間がかかると思う。
設計事務所（所長）	・今月成果があったおかげで受注の貯金もでき、今後2～3か月は今月と変わらず安定する。
住宅販売会社（従業員）	・株高による消費の回復がどこまで続くか不透明である。また、地方への波及効果は遅く感じられる。
住宅販売会社（経営者）	・現在は少し良くなっているが、その状態が上限であり、これ以上に良くなる印象は薄い。
やや悪くなる	
一般小売店〔青果〕（店長）	・近隣の大企業が合併により7月で整理され消滅する。その後の行方をみないと分からないが、今のところはリストラ、リストラ、リストラで景気は悪い一方である。
衣料品専門店（販売担当）	・景気が良くなっているという判断が、至るところで報道されているが、やはり来店客は実感が無いというのが本音だと思う。このところ幾分買物客に動きが出てきた感じだったが、その動きがまた少し小さくなりつつある。そういう様子を見てると今後もあまり期待できず、やや悪くなっていくと予想をしている。
乗用車販売店（従業員）	・需要期も過ぎると販売台数が落ち込むのではないかと危惧している。消費税の引上げ動向によっては変わると思う。

		乗用車販売店（販売担当）	・3、4月は、恐らく卒業、入学、就職関係により、一過性で新車、中古車の販売が伸びる。当地域は観光地のため、2、3か月先の5、6月ごろに観光客は来るが、そこに勤めている人や商売をしている人は車に目がいなくなる。そのため、当然2～4月と比べて販売台数が落ち、それほど良くなる要素はなく、やや悪くなる。
		高級レストラン（店長）	・当店がある商店街も、数か月以内に数店舗閉店すると聞いている。商店街の通りの半分以上が空き店舗になり、良くなる要素が見当たらない。
		スナック（経営者）	・4～6月の今までの動向をみてみると、毎年売上が減っているため、今よりは悪くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・3か月先の6月は、今の時期より少し売上等が悪くなると思う。たまたま総会の時期ではあるが、会場関係においては3月よりは多少落ち込むのではないかと。景気が1日も早く良くなってくれれば有難い。
		タクシー運転手	・同じ地域で競合他社が1社増える予定である。
		タクシー（経営者）	・利用客が少ないため、この先も悪いと思う。
		通信会社（経営者）	・円安による仕入価格高騰で利益がひっ迫している。デフレ慣れした消費者は価格高騰に敏感で、かえって値上げが難しい。デフレ脱却といっても現実には2～3年はかかるだろう。
		通信会社（営業担当）	・無理は続くことなく、再び将来に向けた蓄えに戻る。
	悪くなる	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・最近、近隣の飲食店などは外国人が来て結構にぎやかだと聞いている。しかし、そういったことがあっても、なかなか全体に回らない感じがする。このような状況のため、これからもあまり良い状況は生じないと思う。
		タクシー運転手	・3、4月は歓送迎会の時期であるため、例年多少は動くが、それが終わるとがたっと減る。今年も悪くなると思う。
		通信会社（経営者）	・地方都市の一零細企業が経営を維持していけない状況が続く。元本返済の滞る企業への貸出しは銀行も拒む。こういう時期こそ、本質の金融緩和が必要に思われてならない。
企業 動向 関連  (北関東)	良くなる	食料品製造業（営業統括）	・アベノミクスも徐々に効果が出始めているのか、ほかの酒類からワインへの移行がみられるようになってきている。更に付加価値の高いワインに向かうと考えられる。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・太陽光発電の500キロワットの半メガソーラーが複数か所で立ち上がる予定である。
	やや良くなる	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・アベノミクス効果は当業界にまだ及ばないが、大いに期待している。
		金属製品製造業（経営者）	・取引先より連絡があり、4月から受注が多くなるため、これから良くなる見込みである。楽しみにしている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・中国市場に向けた油圧シヨベル部品の生産が回復傾向にあることは明るい話題だが、現地生産、現地調達の動きがますます加速しているため、国内生産のボリュームが今後大きく戻ることは期待できない。しかし、自動車、油圧機器、航空機等の新規の動きも確実に出てきている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・大手銀行、大企業が良くなってきているため、我々中小企業もこれ以上は悪くならず、少しずつだが忙しくなるのではないかと。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・大手自動車メーカーからの生産の3か月見通しによると、4、5月は6、7月の前倒し関係の発注がくる。そういう部分では伸びるが6、7月を調整しているため、その先がやや不透明になってきた。一方では、4月からのコスト軽減要請があるため、収益的には厳しくなっている。全体的には上向きの状況に入っているが、3か月先以降になると不透明感がやや強まったという感じを受けている。
		建設業（総務担当）	・補正予算の恩恵が数か月後には顕在化してくれると思う。
		金融業（調査担当）	・経済対策の効果が少しずつ見え始める。
		金融業（経営企画担当）	・製造業関連において、円安により輸出が伸びることへの期待感があるほか、建設業、建築業関連においても、政権交代による公共工事の増加や消費税増税に伴う新築住宅の駆け込み需要への期待感がみられる。また、サービス業関連において、観光地が観光シーズンに入ることや、高速道路のトンネル崩落事故に伴う通行止めが解除になったことなどによる期待感がみられる。
		経営コンサルタント	・漠然とした消費マインドの高揚を期待する向きもあるが、食品など生活のレベルアップにつながるような消費の増加、それに伴って生産増加をもたらすような景気の好転には時間がかかるという見方が多い。
	変わらない	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・官庁関係については、相変わらず見積りもかなり下げないと駄目な状況で、実際には変わらないと予想している。
		化学工業（経営者）	・期末のため、駆け込みの注文も結構あり今は良いが、新年度からしばらくの期間は受注の動きが鈍くなってくる。

	窯業・土石製品製造業（経営者）	・ソーシャル・ネットワーキング・サービスでのPR効果が徐々に始めている。クラフト体験のシーズンを前に、体験工房へのPR等、地道に展開していく程度しか策がない。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・現在の受注先については下げ止まりをしており、当分現状維持で推移するとみられるが、採算を割るところまできているため、非常に苦慮している。新規開拓の努力をしているが、結果が出るには半年以上かかりそうである。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・何社かやはり仕事が少なくて十分にないということを聞いている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・主要の客が6月分から仕事の約半分を中国生産に切り替えるため、売上の約3割落ちてしまい、非常に厳しい状況になっている。今後も回復の見込みがなければ新規の開拓をするしかないのだが、状況としては非常に厳しい。近年にない厳しさになると思う。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・来月から新機種の生産が開始予定であるが、厳しい単価の要請を受けている。また、新機種の生産数がまだ不透明である。	
	輸送業（営業担当）	・ドア・ツー・ドアの手軽さでインターネット通販などは今後も荷扱いは増えそうである。また、アベノミクスの景気誘導により、アパレルや高級化粧品などの荷扱ひも増えてきそうである。しかし、円安による燃料費の負担が厳しく、利益は薄くなりそうである。	
	通信業（経営者）	・アベノミクスという言葉だけが独り歩きしており、実際、景気対策の効果が出ている感じは全くない。	
	金融業（役員）	・地方にはまだアベノミクス効果がほとんど届いていない。具体的には、公共工事、あるいは自動車関連などではまだ効果がない。したがって、成長戦略が出たあとの数字が出るか、参議院選挙が終わったあとが一つの山場だと思う。	
	不動産業（管理担当）	・管理する建物の受注金額は、横ばいか少し値下げされており、その分を多少増える小修繕のスポットでカバーする。世で言われている好景気は、地方の当社のような業種にはすぐに影響がない。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・物価上昇2%に見合う賃金改定が言われているが、商店主、企業主の多くは将来の不安が拭いきれず、とても上げられないと話している。	
	司法書士	・皆と話していて、景気回復の効果が数字に表れてくるのは秋の終わりぐらいというのが大筋のようである。	
	社会保険労務士	・多くの事業所で雇用保険の資格取得者よりも資格喪失者のほうが多い。今のところ、この状況が変わる雰囲気はない。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・客の情報化投資の改善はみられるが、従来型の受託型の情報化投資は減りつつあり、モバイル系の活用やクラウド向け商材に客の投資意欲が出てきている。	
	やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者） 電気機械器具製造業（経営者） その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者） 不動産業（経営者）	・今月は年度末で忙しさもあるが、利益、資金繰りなどの面では相変わらず大変である。 ・期待はしたいが、仕事が減ってきた現状をみると先の見通しは厳しい。 ・4月は展示会シーズンであるが、それに向けたオーダーは少ない。商品価格が高騰しているため、小売店からも先を見込んだ発注は少なく、回復には時間がかかる。 ・業種により景気回復に差があるようである。回復しているとの話題はあるが、収益増までには至らず、備品類の補充等の必要経費で精一杯である。
	悪くなる	食料品製造業（製造担当） 建設業（開発担当）	・今月は中国産が値上がりし、来月はアメリカ産の原料が7%ほど上がる。売上が落ち込んでいる状況での原材料の高騰は、財務内容を本当に厳しくさせる。 ・3月は公共工事施工が忙しいが、4月以降は例年発注が少ない時期になってしまう。今月は補正予算が計上されたため期待したいが、当社に関わる工種はどうか分からない。今後は民間工事に力を注ぎ受注確保を目指したい。
雇用 関連  (北関東)	良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・アベノミクス効果で消費意欲がおう盛であり、また、円安、株高が地域の製造業を中心に、活力を付けてきている。
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）  職業安定所（職員）	・4～5月にかけての連休に向けて、気温の変化はあるが比較的早くに暖かさが戻ってくると思うため、衣料品関係や、花見が大体終わってくるころだが北上すればかなり上向き傾向になり、食料品等と酒の伸びが期待できると思う。ただし、住宅関連や建設関連については、まだ今のところ不透明なところもある。 ・相当数の求職者数はあるが、求人数の微増、就職者数の急増、事業所からの情報等から今後はやや良くなる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・仕事に安定感がなく、まだ忙しい感じではない。

	求人情報誌製作会社 (経営者)	・今後、円安と株価の安定が長く続くようであれば、中小零細企業の景気が上向いてくるが、それに伴う求人がすぐに増加するのはまだ大分先になる。
	職業安定所(職員)	・景気回復に期待し、在職中の新規求職者数が増えている。また、新規求人数も復興関連の影響から、建設業、運輸業関係が増加しているが、有資格者や経験者を希望する求人が多くミスマッチとなっている。
	職業安定所(職員)	・企業側の採用意欲の高まりは依然感じられず、正社員求人がもっと増加してこないと、厳しい雇用環境は変わらない。
やや悪くなる	人材派遣会社(管理担当)	・クライアントによる直接の期間雇用等が増えて、派遣の要請が減少する。
	職業安定所(職員)	・ここ2か月の新規求人については、前年同月比でみると、1月は1割減、2月はほぼ横ばいとなっている。新規求職者数については、関連主要企業及びその関連企業で、現在、早期退職の希望者を募り12~3月にかけて実施しているため、3月の求職者数が増加してくる見込みであり、また、例年4月は新規求職者も増加してくる。有効求職者数も当然増加見込みであるため、やや悪くなると判断した。また、企業訪問時等において、管内の複数企業での合併で主要企業では一部事業が経営統合などもあり、そうした影響から県北地区の仕事量の減少を心配する声も聞かれる。新規求人関係は少し厳しい状況になりそうである。
悪くなる	-	-